



## 6月18日 今年も“沼めぐり登山コース”がオープン!



↑ヒグマセンター開始直前の視察でのエゾ沼。

今年も高原温泉ヒグマ情報センターが6月18日に今シーズンの活動を開始しました。

刻々と変わる足早な大雪の季節。ヒグマをはじめとする多くの生き物達の活動が活発になっているのが目に見えて分かるようになる季節です。

日本最大の陸上哺乳類であヒグマが数多く生息できるというその尊い環境を、この沼巡りのコースを通じて味わってくださいね。皆様のお越しをお待ちしています!



★ヒグマ情報センターの活動、沼巡りコースの情報などはSNSでも発信中ですので覗いてみてくださいね。



## 【くまニュース】

今年は歴年のセンター員も驚く程、高根ヶ原をはじめとする沼巡りコース内の雪が少なく、さらに雪解けが早い年になり、巡視をしても驚かされる季節の駆け足の速さ。その雪の量の影響か、ヒグマの目撃情報も多く、オープン初日から多数寄せられています。

更に、例年1シーズンで10回ほどのヒグマとの至近距離での遭遇もオープンから10日ほどでもうすでに6回に…。これも雪の少なさと雪解けの早さやと関係があるのでしょうか。

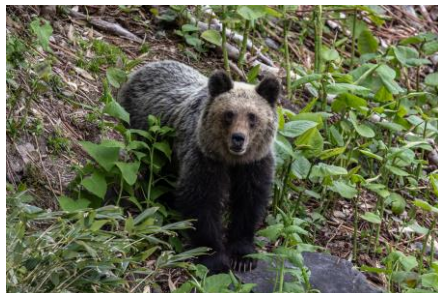
沼巡り登山コースもヒグマの出現状況次第で回れるコースに制限が出る可能性がありますので、ヒグマ情報センターのスタッフやSNSなどで確認してみてくださいね。



↑糞、食痕、足跡などもみられています。



↑6/19 高根ヶ原の斜面にて。子熊が可愛すぎます♡ヒグマ達の生息地が今年も穏やかでありますように。



↑6/24 巡視員が至近距離で遭遇した若いヒグマ。その距離約30m。今年は至近距離での遭遇も多いです。

## 【史上最速?! 三笠新道の閉鎖】

知る人ぞ知る幻の登山道“三笠新道”。

春、雪解けが進み高根ヶ原の斜面の緑地でヒグマ達が採餌に為に居つくようになると閉鎖されるという珍しい登山道。今年は例年に無い雪解けの早さヒグマの出現の早さもあり、三笠新道はこれまでで最も早く、6月25日に閉鎖となりました。

閉鎖前日6/24、三笠新道～高根ヶ原～白雲方面を目指す登山者が多数おられました。なんとその日にコース近辺に複数のヒグマが。ヒグマの様子を登山者の皆様、ヒグマセンターの巡視員見守りながら、コースをこのまま開放してよいものか迷いに迷ってその日は利用し、そして翌日に6/25に閉鎖とまりました…これで涙を飲んだ登山者の方もおられましたが、この登山道の期間限定利用もそこを生きる場とするヒグマをはじめとする大雪の自然環境と私達人間との大事な共存方法です。幻の三笠新道。その姿はまた来シーズン!



↑閉鎖前の三笠新道。アイゼンやピッケルが必要。



↑閉鎖前日の三笠新道のすぐそばで昼寝中のヒグマ。



空沼(2023年6月20日)

## 【今年は雪が少ない!】

既に書いてきた通り、今年は高根ヶ原の雪が非常に少なく、そして雪解けが非常に早く…沼巡りコース内も日に日に雪が解けぬかるみが増え、踏み抜き危険箇所も増え…その風景が朝の巡視と午後の巡視で変わっていることも当たり前。

コース内の沼の様子も例年とは大きく異なるようで特に空沼(からぬま)という沼はそれが顕著で熟練のセンター員も驚くばかり。目の前の自然風景の変化にはきっと何かしらの原因があるはず。今年もヒグマ達やこの沼巡りコースの風景に目を凝らしながら情報発信していきます。



空沼(2023年6月20日)





エゾ沼  
2023/06/15



鴨沼  
2023/06/15



湯の沼  
2023/06/15



緑沼  
2023/06/15



土俵沼  
2023/06/15



バショウ沼  
2023/06/15



式部沼  
2023/06/15



大学沼上部  
2023/06/15



高原沼  
2023/06/15



空沼  
2023/06/15



高原温泉沼巡り  
登山コースのご案内  
♪♪



高原温泉  
ヒグマ情報センター

大雪山国立公園高原温泉  
沼巡り登山コース  
第1号 (6月28日)  
発行：ヒグマ情報センター